

Take action for your Future

福井県立武生高等学校 SSH 研究推進部 No.8 R2.2.27(木)

bPS 学年発表会

1月28日(火)に1年生の「bPS 学年発表会」が本校葵講堂で行われました。この発表会は、1年生一人ひとりが約半年かけて取り組んできた課題研究の成果を、まず、クラス毎に発表し、各クラスで最も優れた研究発表をした1人が選ばれて、発表するものです。この日の一人当たりの持ち時間は5分、質疑応答を含めて7分間を効率的に使い、より論理的に、熱心に発表を行った3名(1組角井君・2組野崎君・4組落井君)が最優秀に選ばれ表彰されました。

組	出席番号	氏名	発表タイトル
1	9	角井 健悟	小型風力発電の可能性～弱い風でも発電できる風車を目指す～
2	27	野崎 仁斗	北陸新幹線は福井県に利益をもたらすのか
3	19	中島 悠誠	ゲームをすることは本当に悪いのか？
4	6	落井 源真	なぜやれ!と言われるとやりたくなくなり、やるな!と言われるとやりたくなるのか
5	10	梶田 凧	生命の起源 異星生物関与と説 立証
6	13	川口 拓大	日本における外車の市場において、なぜ欧州車がほかの国のものより人気なのか
7	28	牧野 有馬	英語ってなんで違いがあるの？
8	13	高棹 良房	多言語と比べた日本語の難しさ
9	16	佐々木 皓央	千年後に『桃太郎』は残っているか



福井県合同課題研究発表会・課題研究発表会

2月11日(火)に、アオッサで開催された「福井県合同課題研究発表会」には、本校から理数科2年の全9グループがポスター発表を行うとともに、そのうちの6グループはパワーポイントを用いた口頭発表を行いました。アオッサでは、福井大学・福井県立大学・仁愛大学等の先生方から、各研究活動に対して、内容が同じものに関しては今後共同研究ができるといい、などの貴重なアドバイスをいただきました。2月13日(木)には本校葵講堂にて、2年生全クラスと1年生理数科生徒の前でも同じ発表を行いました。本校での発表では、福井大学・首都大学東京の先生方から研究に至る動機を明確にすることや、発表の仕方についてはしっかりと事前に内容が頭に入っていることが必要だ、などの貴重なご意見をいただきました。参加した生徒の皆さんからもいくつか鋭い質問が飛び、発表した生徒だけでなく、聴いた生徒にとってもすばらしい発表会となりました。

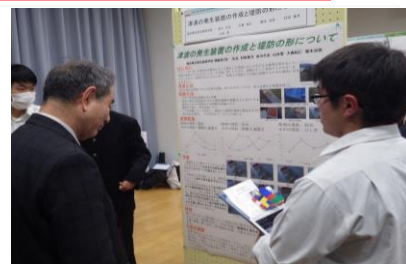
課題研究発表の内容リスト

物理	小水力発電について
物理	津波の発生装置の作成と堤防の形
化学	表面張力と水滴の関係について
化学	効率のよい消臭法
生物	乳酸菌の適応力
生物	微生物の低酸素適応について
地学	鯖江断層について
地学	グラフから見るクレーター形成2
数学	2×2×2のルービックキューブと数学

アオッサでの発表の様子



鯖江断層について



津波の発生装置の作成と堤防の形